そののは、のにおいてをくることをりて、し

して、ちよりちてのにり、**にをし、をいて、らむ**。

　「よ、はにのをして、**らにのをたりといき**。

　ちをれり、ののくなりしを。はん。は、にの

をべかりしに、もち、**らをてれりとしたればなり**。

　よ、　えば　　、りて、のにりて、にいてせるがし。この

、は、のありて、にくべかりしかば、**のをて、の**

**のにけ**、をえてれり。その、いして、てせず。きりて、

してにり、**ののに、てること、だいにし、**

**ししるれば、ちてれりとす**。に、いうて、を、

して、のをす。

　『**きかな、よ**。ぞ、のに、ちのくなるにるや。は、

をして、なることをて、にからならしめんとして、の

において、**のをて、ののにけたり**。　**、にり**。

**るを、はらずして**、しし、てすることをむ。だこれ

なり。は、のをて、むるにるべし。に、のくにして、

しくるかるべし。』

　もた、のし。たりし、をして、のをさしめ

たまえり。るを、いでして、らずらず。**にをて、ら**

**せりとい**、**をくるにして、しをてれりとす**。のいは、　りてわず。、**は、をして**、のきをしたもう。

　『のよ、がたるは、のにず。はしく、を

して、のをえしめたれども、をてのに、のをす。るを、は、これにをたりとえり。』

　よ、は、ちれり、にれにして、のを

かることをたり、と。このをて、だいにし、なることを

たり。」